

トラックづくりのすべてにわたって、環境への配慮を徹底。



トヨタがめざす「トータルクリーン」

トヨタは「トータルクリーン」を基本理念に、環境に配慮したクルマづくりを進めています。生産から廃棄にいたるトータルライフの視点により、環境への取り組みのひとつひとつをすべての過程で連携。さまざまな環境目標をバランスを取りながら達成することで、総合的に環境性能の向上を図り、クリーンなクルマづくりをめざします。

地球温暖化対策の実施

- 温室効果ガスであるCO2排出量の低減をめざして、軽量・高効率なエンジンを搭載。また、ハイブリッドシステムの採用などにより、優れた低燃費を達成しています。
- エアコンの冷媒充填量を低減しています。

環境負荷物質の削減

鉛、水銀、カドミウム、六価クロムを削減し、業界目標を達成しています。

VOC※2の低減を推進しています。

内装部品の素材、加工法、接着剤の見直しにより、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエンなどの揮発性有機化合物(VOC)の発生量を抑制。車室内の臭いや刺激臭を軽減するとともに、厚生労働省が定めている「室内濃度指針値」を下回るレベルとし、業界自主目標を達成しています。

トヨタではLCAにより相対的な環境メリットを確認することを目的としているため、実施結果は指数で示しています。

※1. Eco-VAS[エコパス]: Eco-Vehicle Assessment System。車両開発責任者が企画段階で生産、使用、廃棄にいたるLCA(ライフサイクルアセスメント)の考え方を踏まえた環境目標を設定。全開発プロセスを通じて目標達成状況をフォローして、確実な達成を図る総合的な環境評価システムです。

※2. VOC: Volatile Organic Compounds

※3. LCA: Life Cycle Assessment。資源採取～廃棄・リサイクルまでの各段階で、クルマが環境に与える要因を定量化し、総合評価する手法で、ISO14040シリーズで国際標準化されています。

※4. TSOP: Toyota Super Olefin Polymer

LCA(ライフサイクルアセスメント)※3の実施

走行段階だけでなく、トラックの生産・使用から最終的に廃棄するまでの全ライフサイクルで、環境への負荷を把握するのがLCA(ライフサイクルアセスメント)。トヨタでは、その観点から、排出するCO2やその他の大気汚染物質の総量を従来型車に比べて低減しています。

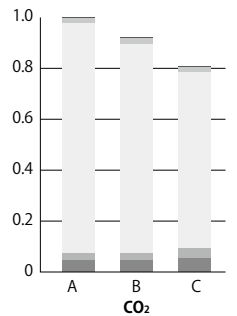
都市環境のクリーン化に配慮

ディーゼル車は新高性能触媒DPR-IIの採用により、排出ガスのクリーン化を推進。その結果、「平成28年(ポスト・ポスト新長期)排出ガス規制」に適合しています。

リサイクル性の向上へ

インストルメントパネルやメータークラスター、グローブボックスドアなど内装部品にリサイクル性に優れた樹脂TSOP※4を使用しています。

LCA実施結果



A: 従来型ディーゼル車
B: 新型ディーゼル車
C: 新型ディーゼルハイブリッド車
■ 廃棄 ■ メンテナンス ■ 走行
■ 車両製造 ■ 素材製造

環境仕様

車両		ディーゼル車							LPG車		
		DPR-II搭載車					ハイブリッド車				
車両仕様	排出ガス記号		2RG-	2PG-	2KG-			2SG-	NBG-		
	エンジン	型式	N04C-WD	N04C-WD	N04C-WD	N04C-VT	N04C-VU	N04C-WE	1BZ-FPE		
		総排気量 (L)	4.009						4.009	4.104	
駆動装置	使用燃料	軽油						軽油	LPG		
	駆動方式	2WD	2WD		4WD	2WD	2WD	2WD	2WD		
CO ₂ 排出量 (g/km)	車両総重量	3.5トン超	1.5トン超2.0トン以下	227	235	—	244	—	244	190	275
		7.5トン以下	2.0トン超3.0トン以下	244	—	—	264	—	261	202	295
		以下	3.0トン超4.0トン以下	—	297	294	—	—	315	244	—
	7.5トン超	—	—	—	—	349	349	—	—	—	
排出ガス	適合規制	平成28年(ポスト・ポスト新長期)排出ガス規制※5							平成17年規制		
	JE05モード認定レベル (g/kWh)	NOx	0.4						0.7		
		NMHC	0.15						0.23		
P M	0.007						—				
車外騒音	規制適合(規制値)	平成28年騒音規制※6 フェーズ1(加速騒音:77dB-A(4WD車は78dB-A))							平成13年騒音規制 加速騒音:80dB-A (4WD車は81dB-A)		
冷媒の種類 HFC-134a/使用量 (g)	標準キャブ※7	400	400	400	400	—	400	400			
	ワイドキャブ※8	500/400(ダブルキャブ)	500	400	400	400	500	—			
環境負荷物質削減	鉛	自工会2006年自主目標達成(1996年時点の1/10以下※9)									
	水銀	自工会自主目標達成(2005年1月以降使用禁止※10)									
	カドミウム	自工会自主目標達成(2007年1月以降使用禁止)									
	六価クロム	自工会自主目標達成(2008年1月以降使用禁止)									
車室内VOC		自工会自主目標達成									
リサイクル関係	リサイクルしやすい材料(TSOP)を使用した部品	インストルメントパネル、メータークラスター、グローブボックスドア、フロアコンソール、クォーターリムボードなど									
	樹脂、ゴム部品への材料表示	あり									

※5.WHDCモード ※6.技術的許容質量が3.5トンを超え、12トン以下のもので最高出力が135kW以下のもの。 ※7.リヤクーラー付は750g。 ※8.リヤクーラー付は850g。

※9.1996年乗用車の業界平均1,850g(バッテリーを除く)。 ※10.交通安全の観点で使用する部品(ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージランプ、室内蛍光灯)を除く。